

KOKUSAIGAKUEN

KMS通心

0才から100才までの動ける身体づくり

絆

編集・制作

学校法人国際学園 広報部
福岡県北九州市小倉北区堺町
1-2-16
十八銀行第一生命共同ビル6F
TEL 093-513-5931
10月号 [74]



日本スポーツマスターズ2013 北九州大会

9月14・15・16・17 バスケットボール救護班

初めての経験が多く、とても勉強になりました。普段勤務する整骨院ではスポーツ選手といっても、部活動の高校生ぐらいの体格しか目にすることがなかったので、参加選手の方の体の大きさは衝撃的でした。体の部位のひとつひとつが大きいので、ストレッチにしても、テーピングにしてもかなり苦戦しました。また、アキレス腱断裂や指の脱臼等、多くの症例を浪尾先生が素早く処置され、その様子を真近かで見たことは本当に勉強になりました。

トレーナーブースには主にテーピング希望の方が多く、浪尾先生のテーピングは本当にきれいでした。先生にテーピングをしてもらった選手が「全く痛くなかったからまた貼ってほしい」と、翌日もブースに来られたときはその効果に感動しました。私も選手に感動してもらえるような処置ができるように頑張ってお勉強したいと思います。AT学科 溝上のみ子



ご挨拶

をる計組て今のち後
しハで画んた年時よ、今
たイし通で事初期う3年
時キよりい、めがどかも
、ンう進るまに来再月残
行グか行もた計まチとす
きや？しの予画しエなり
と旅 てが定をたッりこ
帰行 い、を立。ク。ろ

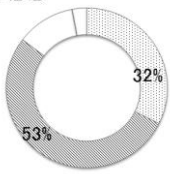
帰にな体字いかど思をり
路辛いとで消、れい感の
はくの脳は耗体くまじ体
、感でが見し力らすた力
目じ、経てそをい。人
的ま想験いうどの行も消
地す像してかれ距き多耗
が。以ても、く離はいの
だ 上い身数ら、と差

身切め予仕なはて体るい
をでる定事もいいが。た
見すこもにのるる学つい
つ。と目おでがた習ま把
め常が的いす、め（り握
なにと地て。比、経、で
お自て点の較疲験一き
す分もを行 的れ）度て
、自大定動 楽てし、い

受講者85%が「よかった！」



受講の感想



◎とても良かった 32% ◎良かった 53% ◎普通 12%
◎あまり良かった 0% ◎良くない 0% ◎無記入 3%

参加者アンケートを行いました。皆様からのご意見、ご要望は、今後の改善に活用させていただきます。

第二回 KMSスキルアップセミナー

肩関節に対する 多面的アプローチ ～多職種の視点より～

理学療法士・柔道整復師・アスレティックトレーナー・鍼灸師としての視点

今回のスキルアップセミナーには、柔道整復師や鍼灸師、理学療法士や本校学生なども含めて50名弱の方が参加されました。現場で対応することの多い肩関節に対しての内容であったため、参加者の方々も非常に熱心に聴講されており、アンケートの結果を見ても満足頂く内容になったようでした。

次回は、11月17日に「腰部」に着目した内容が開催される予定です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

利つ客利をと いよてチ
益まの益上つ経。う最エ
をり創をげに営 頑終ツ
生仕造上る『哲 張目ク
み事がげ』三学 っ的時
だの新『流の てに期
す新し二は中 く達を
こしい流利の だす定
とい※顧は益ひ さるめ

まろはすげ自うとすはが
しか、。る分もがる、で
よら三しだのので人そ
う頑流かけ院がきる財の
。張にしでのあるを利『
っな、は利り』育益『
てるま三益まとる一
いとず流をす、る繼流
きこ で上。いこ続

救急救命講習 理学療法学科



救急救命講習の生徒さんの感想から一部抜粋してご紹介します。

PT学科 鎌田 穂乃花

PT学科 馬崎 美緒

今回の講習では、心肺蘇生法の実技をふまえ学びました。講習の中でその順序や、なぜその行為を行うのかを詳しく教えていただきながら実施し、今まであまり理解していなかった心肺蘇生法の意味、重要性を改めて考え理解する機会をいただき、とても勉強になりました。



さらに、救急車を呼んで現場に到着するまでの平均時間が6分かかるのに対して、心停止から3分間、呼吸停止10分間の生存率が50%に低下すると聞き、ほんの数分で人の生き死にが決定してしまうことに怖さと驚きを感じました。

心臓マッサージや人工呼吸を行う理由、AEDの役割、なぜ救急車が到着するまでにこれらの処置をする必要があるのか、自分は知ったつもりでいましたが、正しくは理解できていませんでした。練習中パニックになってしまい、次に何をしないといけないかを考える余裕がありませんでした。改めて、冷静さ・早さが求められることを学びました。私は、実際にこのような現場で冷静に的確に素早く対処できるようにするためには今日習った事をしっかり頭に入れ、普段から意識しておく必要があると思いました。



附属治療院の活動をご紹介します。



ありがとうカップ 救護班

9月1日本城陸上競技場にて、ありがとうサッカーカップが開催され、救護班として参加しました。当日は激しい雨の中6チームの子供達が頑張りました。午前中で中止になりましたが、怪我無く終えることができ、良かったです。初めて救護班に参加したチャチャの五六先生も何かを感じて、次に繋げていってくださらと思います。



附属治療院
チャチャエム
渡邊

附属治療院 湯川整骨院 平和通本院
YANAGIHARAボクシングジム

池田綾乃 一日警察署長!

学校法人国際学園 附属治療院 湯川整骨院 平和通り本院スタッフであり、YANAGIHARAボクシングジム所属(女子日本フェザー級1位)の池田綾乃選手が、9月25日(水)「行橋・京都子どもと高齢者-安全フェア2013」において『一日警察署長』を務めました。制服姿も凛々しく決まっています!これからも応援よろしく願います。



グラッチャ子ども運動トレーニングセンター体験会

今回は
遠賀郡 岡垣地区
若松区 ひびきの地区の2会場
参加者数 70名弱(3歳~幼稚園以下)非常に多い体験会でした。

グラッチャ子ども運動トレーニングセンター 桑原



9/21 岡垣地区

9/16 ひびきの地区

編集後記



第5回 医療とスポーツのシンポジウムに向けて準備を進めています。北九州市生誕50周年記念イベントとして 白鵬関を始め、錚々たるメンバーが揃いました。これまでとは一味も二味も違うシンポジウムになりそうです。日時は2014年11月4日 場所は、北九州国際会議場メインホールです。入場は無料です。是非お越しください。